

あなたの合図は 他人に迷惑を かけていませんか!?



合図は進路変更をする**3秒前**、右左折をする**30m手前**を目安に出しましょう

県外の人から、鳥取県のドライバーは「マナーが悪い」と言われていることを知っていますか？

その主な理由は

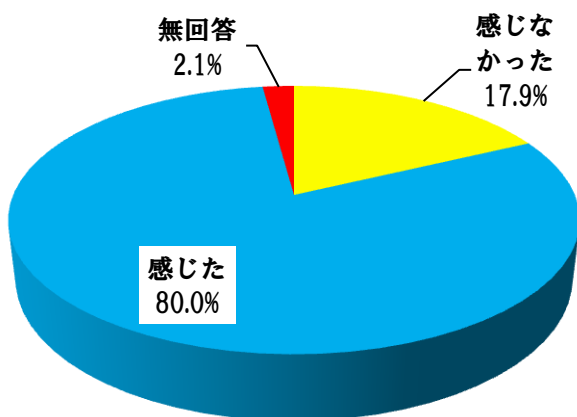
- 合図を出さない、またはブレーキの後に合図を出す
- 合流するときになかなか譲らない
- 横断歩道を渡ろうとしても止まらない

というものです。

県民のドライバー全てが、「マナーが悪い」わけではありませんが、皆さんに県外の人からこのように思われていることを知っていただいた上で、日本一マナーのよい鳥取県に向け、マナーアップについて関心を持っていただきたいと思います。

そこで、先ごろ鳥取県内のドライバー519人を対象に「合図」に関する意識調査をした結果から、「合図」について考えてみましょう。

ひとつ間違えば、交通事故に・・・



左のグラフは、合図が遅い、または出さないドライバーのため、危険を感じたことの有無について質問した回答結果です。

実に**80%**の人が危険を感じたことがあると回答しています。

どのような危険か具体的に見てみましょう。（裏面に続く）

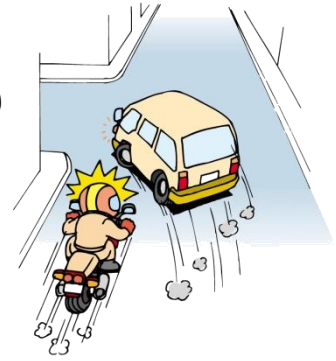
危険な状況の具体例

～遅い合図が他人にどのような危険を与えているのか～

危険を感じたドライバーがどのような危険を感じたかについて質問したところ

- 急に進路変更して割り込んできた (19.8%)
- 追突しそうになった (17.8%)
- 急ブレーキをかけなければならなかった (16.1%)
- ぶつかりしそうになった (15.7%)

等の意見が多く、中には実際に事故になったという例もありました。



また、少数意見として

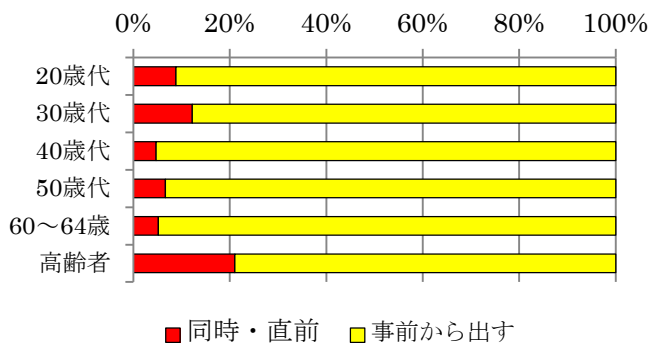
- 対向車が合図を出さずに右折した
- 自転車やバイクで走行中、合図を出さずに左折した車に巻き込まれそうになった
- 右折レーンに進路変更しようとする、合図を出していない前の車が進路をふさぐように右折レーンに寄ってきた
- 前の車がどのような動きをするか予測がつかない、イライラする

などの回答もありました。

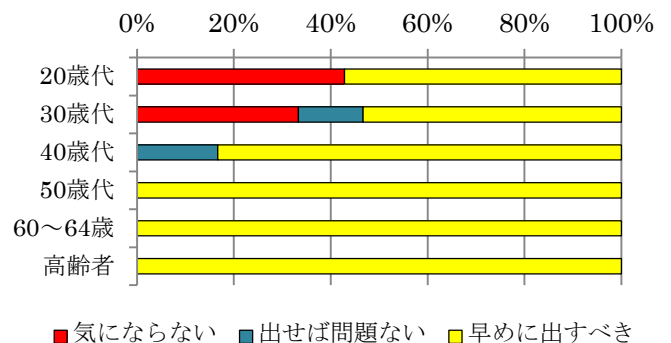
合図が遅いドライバーの特徴

合図の開始時期について質問したところ、『進路変更と同時・進路変更直前』と回答した人は併せて42人いました。(全回答者の8.1%)

合図の開始時期について



合図の遅いドライバーについて



グラフは、各年齢層の総数を100%とし、それぞれの項目が占める比率を表したものです。

○ 合図の開始時期 (全回答中)

『同時・直前』と回答した高齢者が20%以上、次いで、30歳代、20歳代の割合が高いという結果が表れました。

○ 合図の遅いドライバーについて (『同時・直前』と回答した42人中)

20歳代の40%以上が『気にならない』と回答、30歳代の50%近くが『気にならない・(時期に関係なく)出せば問題ない』と回答しました。

50歳代~高齢者の全てが、他人に対しては『早めに出すべきだ』と回答しています。

早めの合図は、周りの人に対する思いやり～防げる事故もあるのでは？～